

○帯広市自然環境保全地区保全計画（案）

1 保全地区の名称

富士町基線湿性林

2 保全地区

(1) 位置

帯広市富士町基線 50 番 2 外（別添、位置図のとおり）

(2) 区域

帯広市富士町基線 50 番 2、50 番 7、50 番 13（別添、区域図のとおり）

(3) 面積

1. 75ヘクタール

(4) 土地所有及び管理関係

民有地

3 指定理由

富士町基線湿性林は、帯広市街地から南に約 1.5 km の札内川左岸の段丘面上に位置する森林で、面積 1.75 ha である。

林冠を構成する樹種はハルニレ、ヤチダモ、ハンノキであり、その他エゾイタヤ、キタコブシなどが見られ、地域で典型的な湿性林である。林床はミヤコザサが一部で優占しているが、フッキソウ、エゾノシモツケソウ、タチギボウシ、シュロソウなど湿性林に見られる種が多く出現する。

林内には「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト（環境省、2015）」に記載があるクロミサンザシ（絶滅危惧Ⅰb類）、エゾハナシノブ、ヤマタニタデ（以上2種、絶滅危惧Ⅱ類）、オオバタチツボスミレ（準絶滅危惧）の4種が生育する。

また、動物では捕食性の鳥類であるモズ、北海道在来とされるカエル2種の両生類が確認されるなど、その生息に環境の連続性や多様性を必要とする種が確認されている。この林分は富士町にある2つの帯広市自然環境保全地区と、札内川をはさんでヌップク川流域の3つの帯広市自然環境保全地区との中間に位置することから、地域の生物多様性の保全を考える上で極めて重要な区域である。

したがって、帯広市自然環境保全条例第10条第1項第1号「動植物を含む自然環境がすぐれた状態を維持している山岳、丘陵、森林、草生地、溪谷、河川等の区域」に該当するものとして、自然環境保全地区に指定する。

4 保全計画

(1) 保全すべき自然環境の特質

ア. 植生

本地区の植生は、高木層にハルニレ、ヤチダモ、ハンノキが、亜高木層から低木層にエゾイタヤ、キハダ、キタコブシなどが、草本層にミヤコザサが優占している。特筆すべき事項として、絶滅のおそれがある種として、クロミサンザシ（絶滅危惧Ⅰb類）、エゾハナシノブ、ヤマタニタデ（以上2種、絶滅危惧Ⅱ類）、オオ

バタチツボスミレ（準絶滅危惧）の4種が見られる点が挙げられる。

イ. 動物

本地区では、北海道レッドデータブックで留意種とされるオオアカゲラなど森林性の鳥類が見られるほか、捕食性の鳥類であるモズが確認されている。また、北海道在来とされるエゾアカガエル及びニホンアマガエルの両生類2種が確認されている。

(2) 自然環境の保全に関する基本的な事項

保全地区においては、極力人為による自然環境の改変を来さないよう行為の規制を図るとともに、関係機関並びに地域住民との緊密なる連携のもとに有効適切な保護監視体制の整備に努め、地域の自然環境の保全を図るものとする。

また、本地区において、人や家畜等の過度な立ち入り等による植生の損傷、動物への影響を生じさせないよう適正な指導を行うものとする。

(3) 自然環境の保全のための制限に関する事項

ア. 本地区の自然環境を保全するため、地区内における工作物の新築、土地の形質の変更、動物の捕獲、樹木等の伐採、鉱物の採掘、水面の埋め立て、人為による河川・池沼等の水位水量の増減、広告物の掲出等の行為の許可申請又は届出等に対しては、帯広市自然環境保全条例及び同条例施行規則の趣旨に基づき、厳正に対処するものとする。

イ. 地区の自然環境の特質に鑑み、当該自然環境に悪影響を及ぼす行為等が行われないよう監視指導に努めるものとする。

(4) 自然環境の保全のための施設に関する事項

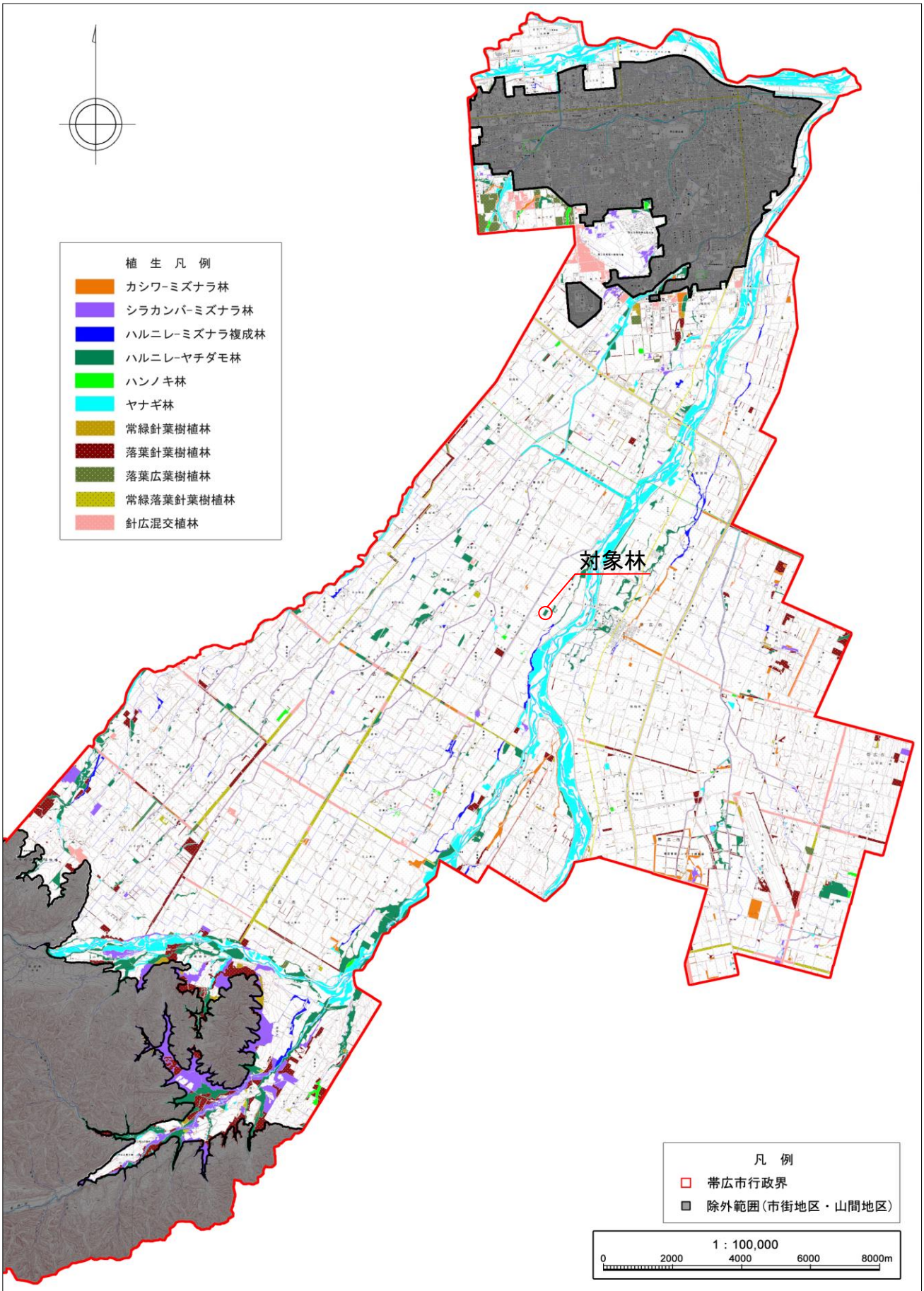
本地区の自然環境を保全するため、標識類の保全施設を次のとおり設置するものとする。

設置箇所	別添図面（区域図）のとおり
施設の種類	標識その他これに類する施設
工 種	新設

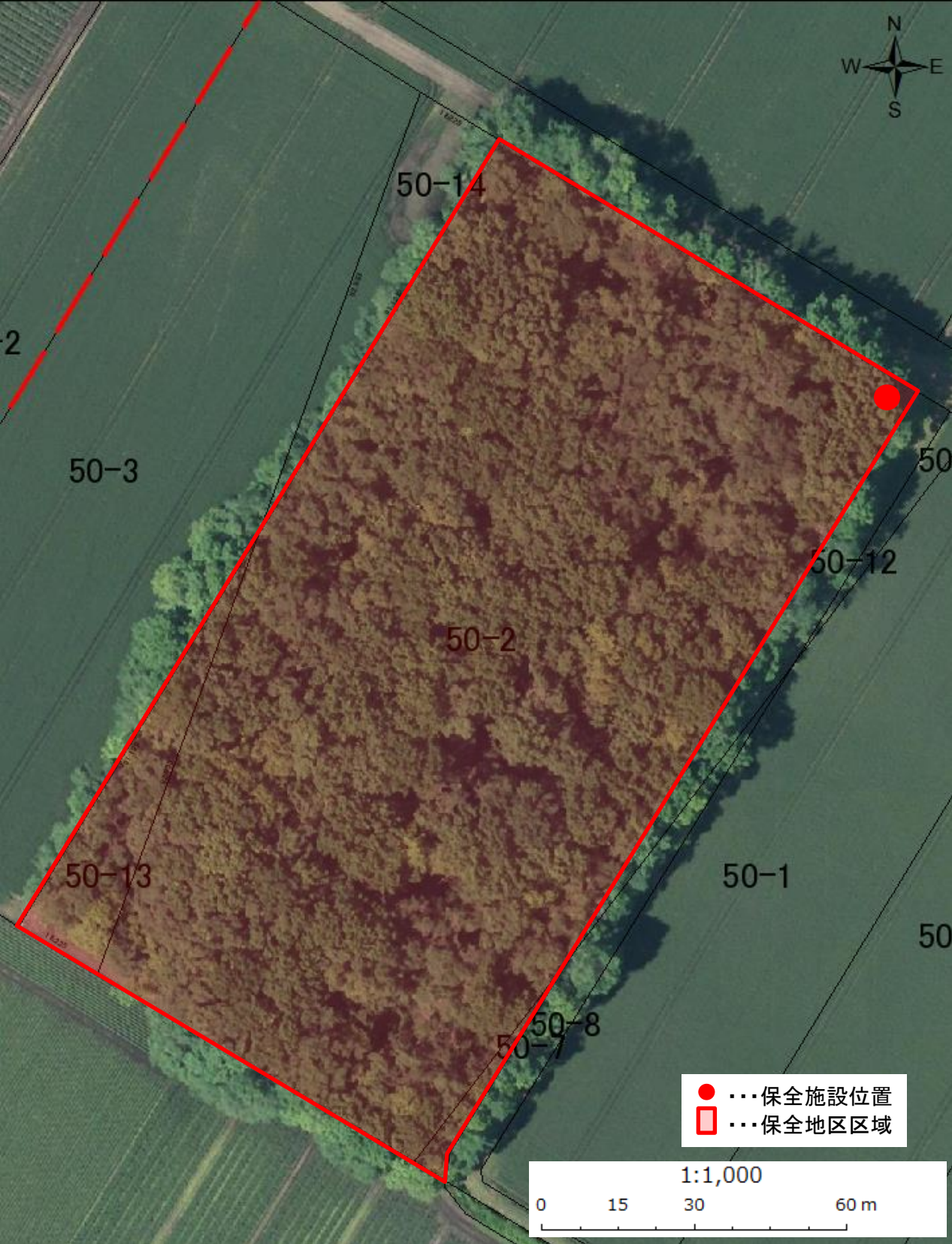
保全地区標識の概観



位置図



区域图

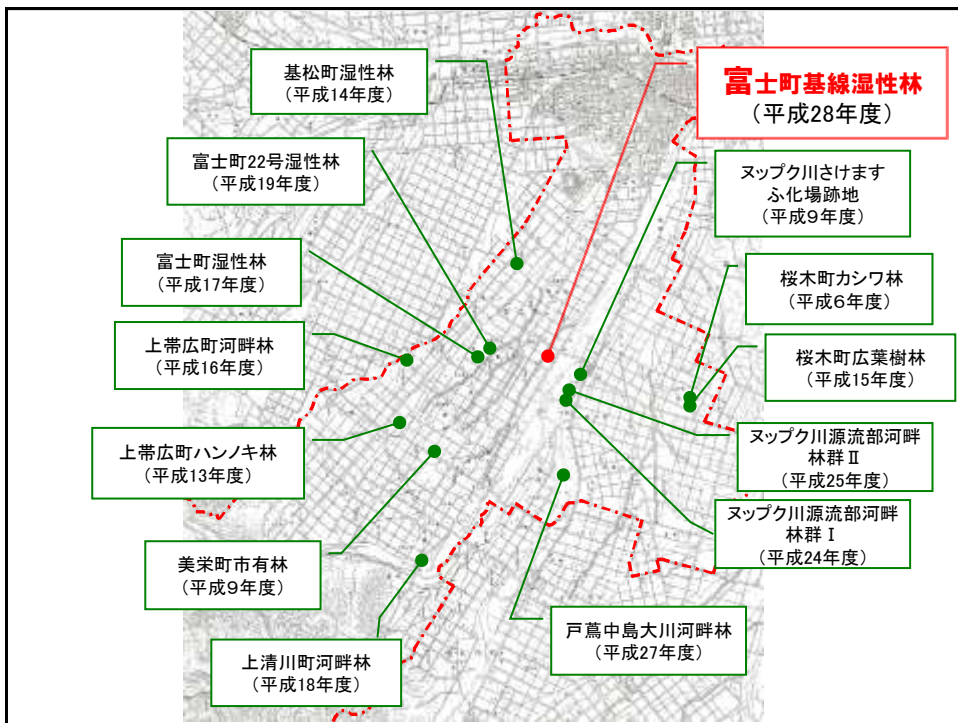


付近の主たる樹林地及び自然環境保全地区



富士町基線湿性林

保全計画案について



富士町基線湿性林

- ・位置 帯広市富士町基線50番2外
- ・区域 区域図のとおり
- ・土地所有 民有林
- ・面積 1.75 ヘクタール
- ・備考 帯広市で14番目の保全地区
(民有林の指定は10例目)

指定理由

帯広市自然環境保全条例第10条第1項

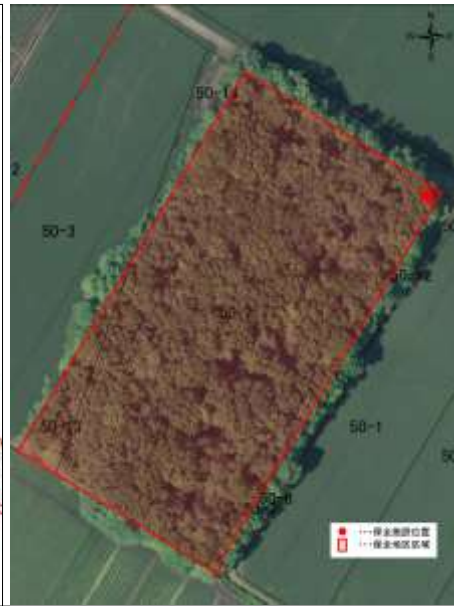
動植物を含む自然環境がすぐれた状態を維持している
山岳、丘陵、森林、草生地、溪谷、河川等の区域

- ・ 54科127種の植物種
 - うち絶滅のおそれのある種(重要種) 4科4種
- ・ 広範な環境又は森林環境を利用する動物を確認
- ・ 既存の保全地区との配置から、生物多様性の保全上、極めて重要な区域

所在地



区域図



付近の樹林地



指定予定林のようす



植 生

ハルニレ、ヤチダモ、ハンノキが主体の林

高木層	ハルニレ、ヤチダモ、ハンノキ
亜高木層	エゾイタヤ、キハダ、キタコブシ
低木層	
草本層	ミヤコザサ、フッキソウなど
特記事項	環境省レッドリスト記載種→4種 北海道レッドデータブック掲載種→2種

動物

広範な環境を利用する種 →モズ、カエル2種

森林環境を利用する種 →オオアカゲラ

鳥類	キジバト
	オオアカゲラ
	ヒバリ
	ハクセキレイ
	ヒヨドリ
	モズ
	センダイムシクイ
	エナガ
	ハシブトガラ
	シジュウカラ
	ゴジュウカラ
	アオジ
	カワラヒワ
	ベニマシコ
	ニューナイスズメ
	コムクドリ
両生類	ニホンアマガエル
	エゾアカガエル

使用許諾
により
配布不可

使用許諾
により
配布不可

モズ

ニホンアマガエル

使用許諾
により
配布不可

使用許諾
により
配布不可

オオアカゲラ

エゾアカガエル